

# 花咲きホールからのお知らせ

TEL 36-2323

FAX 36-2777

## チケット好評発売中

### 山県市オリジナル演劇「やまがたりⅢ」

～千里の道も一歩から～

山県市に残る民話を題材にした市オリジナルの創作演劇です。

ふるさとを想い、未来を夢見る人びとの愛や絆を描いた感動物語を、ぜひご覧ください。

- ▶ **出演** 熱い想いで集った  
一般公募のみなさん  
劇団そらのゆめ
- ▶ **場所** 文化の里花咲きホール
- ▶ **入場料** 全席自由 一般 1,000円  
高校生以下 500円
- ▶ **公演日** 8月20日(土)、21日(日)  
13時30分開場 14時開演
- ▶ **主催** 市教育委員会



## チケット近日発売

### 花咲きJAZZフェスティバル

エリック宮城(トランペット)、野々田万照(サクソ)、  
ウインドハーモニー山県による、明るくポップなジャズコンサートです。

小さなお子さんから大人まで幅広く楽しめます。ぜひ、足をお運びください。

- ▶ **出演** エリック宮城(トランペット)  
野々田万照(サクソ)  
ウインドハーモニー山県
- ▶ **場所** 文化の里花咲きホール
- ▶ **入場料** 全席自由 一般 2,000円  
高校生以下 1,000円
- ▶ **公演日** 9月11日(日) 14時開演
- ▶ **主催** 市教育委員会



## メンバー募集

### 第12回花咲きコンサート「市民による第九合唱」

ベートーヴェン交響曲第九番第4楽章の合唱に参加する人を募集します。

- ▶ **日時** 12月4日(日)
- ▶ **練習日** 8月27日以降の毎週土曜日19時～21時(予定)
- ▶ **場所** 文化の里花咲きホール
- ▶ **参加条件** 中学生以上、練習に参加できる人(市内外を問わず)
- ▶ **会費** 3,000円(家族割引、学生割引有り) 楽譜:希望者のみ700円程度
- ▶ **内容** ベートーヴェン交響曲第九番第4楽章の合唱ほか



### 山県市役所ロビーコンサート ランチタイムコンサート

- ▶ **日時** 7月20日(水)12時～12時45分
- ▶ **出演者** ヘルマンハーブグループ「風歌」
- ▶ **主催** 花咲きホール・花咲きホールボランティア

- ▶ **チケット取扱場所**  
花咲きホール 会計課  
高富・美山中央公民館
- ▶ **チケット取扱時間**  
開館時間 9時～17時  
(閉館・休館日を除く)

### ★花咲きホールボランティアスタッフ募集★

花咲きホール公演の受付・会場・接待・企画運営など、  
イベントスタッフとしてご協力いただける人を募集しています。市内外在住を問いません。

図書館からの  
お知らせ

☎TEL 36-33339

開館時間延長について

次の期間は、図書館開館時間を1時間延長します。

▼期間

7月1日(金)～8月31日(水)

▼開館時間

9時～18時

※高富中央公民館図書室・みやまジョイフル倶楽部図書室は、通常どおりです。

図書館上映会

シアターセットで子ども向けDVD無料上映会を行います。

▼日時

7月24日(日)14時～

▼作品

「小さな世界はワン

ダーランド Vol.2」(50分)

古本をお譲りします

購入後の年数が経過した本や紙質の劣化した本を無料でお譲りしています。(絵本、児童書のみ)

美術館からの  
お知らせ

☎TEL 36-33339

市民作品展

市内在住の渡邊恒子さんによる浮世絵展を行います。

▼期間

7月5日(火)～7月31日(日)

▼料金

無料

▼場所

美術館多目的ホール



古田紹欽記念館からののお知らせ ☎TEL36-1023

紹欽さんの好日会 スペシャルイベント

～月見茶会&チェロコンサート～

▶時間 9月17日(土)

月見茶会 17時45分～19時  
チェロコンサート 19時30分～20時45分  
※コンサートのみ 開場19時15分

▶演奏者 チェロ 井尻 兼人  
ギター 斉藤 惟吹

▶場所 古田紹欽記念館

▶参加費・定員

共通券(月見茶会&チェロコンサート) 1,000円、50人  
チェロコンサートのみ 700円、30人

※要予約、コンサートのみ券は共通券完売後に販売します。

▶券取扱 古田紹欽記念館(9時～17時)

紹欽さんの○△□

美しく生きることを生涯追求した古田紹欽さんが私たちに問いかけるものとは…?

●今月のひごと

「心にもないことを口先だけではめられるほど不愉快なことはない。ずげずげと悪口をいって、悪口に少しも悪意がないのは悪口に腹が立たない。毒舌を聞いていると胸のすく思いをすることがある。」と語られている紹欽さんの文章を見つめました。さらに、「悪口をいわないのに越したことはない。この頃はどうも人の悪口が多すぎる。悪意をもった悪口が多すぎる。」と嘆かれておられます。

他人を批判したことばかり言うのは、タダの悪口。自分を知った上での自己反省も加えた悪口が毒舌ならば、毒舌をいうのは、自分がどういう人間であるか、己をよく知った人でしか言えないのではないのでしょうか。

「生きる知恵 日常の禅」

徳間文庫